

インフルエンザ流行警報の発令について

岩手産業保健総合支援センター (NS)

私の通勤はJRを利用しています。片道約1時間の通勤時間の過ごし方は、数独(ナンバープレース)解き、読書で過ごしますが、ほとんどは列車の心地よい揺れに居眠りに費やしています。

最近、マスクを着用している乗客が急に増えましたが(そういう私も、マスク着用乗客の一人です)、新年松の内最終日1月7日の岩手日報社会面に、「県内インフル警報 流行1か月以上早く 県発令」という見出しで掲載されているインフルエンザ流行の記事を読み、列車内でのマスク着用者が増えるのも当然のことと納得した次第です。

岩手県感染症情報センター1月8日付「感染症発生動向調査」第1週速報(12月29日~1月4日)では、県内インフルエンザ様疾患の患者の発生状況が(※)34.28と、本格的な流行状態となりました。

冬休みが終了してこれから新学期が始まると更に増加傾向が続き、本格的な流行状態が終息するまでにはまだまだ時間がかかるものと思われます。

岩手県保健福祉部医療政策室の1月6日報道発表資料、「インフルエンザの流行状況(流行警報の発令)について」の「県民への注意事項」、「更なる感染予防対策の徹底」で、

- 手洗い・うがい・咳エチケットを励行する。
- 十分な栄養や睡眠をとるなど、体調を管理する。
- かかってしまった(症状がある)場合には、無理をして学校や職場などに行かず、早目に(出来れば平日の日中に)医療機関を受診する。

を挙げています。

併せて、厚生労働省HPの「平成26年度 今冬のインフルエンザ総合対策について」<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html> も是非ご覧になり、特に、受験生、受験生を持つご家庭の方々は、予防対策を励行、管理等を行ってください。

皆が、早くマスク着用をしなくても良くなるよう祈りつつ、列車の心地よい揺れに身を委ねながら通勤時間を過ごしていきます。

※注：【出典 岩手県保健福祉部医療政策室の1月6日報道発表資料】

この発生状況は、定点あたり報告数であり、県内64の定点・医療機関から、毎週インフルエンザ様疾患の患者数の報告を受けているもので、1.0を上回ったら流行入り、10.0以上で注意報レベル、30.0以上で警報レベルにあると判断しています。

.....